

「ゲノム編集食品」の安全性を考える

今年9月、サナテックシード社によるゲノム編集トマトの一般販売が開始されました。さらに、ゲノム編集の肉厚マダイについても販売が可能となりました。ゲノム編集技術については、その有用性や安全性がアピールされていますが、実際には狙っていない遺伝子が破壊されてしまうオフターゲットの問題や、狙い通りの遺伝子が破壊できた場合でも想定外の変異が起きる問題も報告されています。

今回、ゲノム編集食品について問題提起をされてきた印鑰 智哉（いんやくともや）さんをお招きして、ゲノム編集食品の安全性をどう考えたらいいか、ゲノム編集食品をめぐる日本や世界の動きについてお話しいただき、どうしていくべきかを考えていきます。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

◆消団連幹事以外の方もご参加いただけます。

- 日時 : 12月9日(木) 13:00~14:10
- 開催方法 : オンライン(ZOOM)での学習会
- 講師 : 印鑰 智哉(いんやくともや)さん
- 参加費は無料です

講師のご紹介

日本、ブラジルのNGO、オルター・トレード・ジャパン政策室室長を経て、現在フリーの立場で世界の食の問題を追う。ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』日本語版企画・監訳。アマゾンの持続的発展に関する共著『抵抗と創造のアマゾン—持続的な開発と民衆の運動』(現代企画室刊)



申し込み先

お申し込みは、いずれかの方法で、12月2日(木)までにお願いします。後日、参加URLを送ります。

>メール : Ryoichi.Kurishima@ucoop.or.jp (神奈川県消費者団体連絡会 栗島)

>FAX : 下記に必要事項を記入して FAX 045-473-9272

お名前	メールアドレス

>右の二次元コードから

<https://onl.tw/E9B45hu>



※お問い合わせ:神奈川県消費者団体連絡会 栗島まで(TEL: 045-473-1031)